

【模範解答】

まず、主将には B 君を任命したい。チームは「大会での優勝」を目標としているが、成果を出すためには“全員の”力を最大限引き出さねばならない。かつて、巨人の名将、原監督は「人生とは他動的で、組織内は支えあってできている」と述べ、チーム内でお互いを指摘しあえる環境の大切さを説いていた。このように、主将には組織内でアドバイスをしあえる環境を整える役割があり、そのためには、主将本人が誰からも信頼される人望を持っていることが求められる。この点、B 君はレギュラーではないものの、チーム一の人望があり、主将を任せるに値すると思料した。

そして、副主将には A 君を任命したい。上記で述べた主将像だけでは、技能面が考慮されていないため、試合中などのテクニカルな面で指揮をとることができなくなってしまう。そこで、副主将が技能的な側面から指揮をとり、いわゆる“参謀役”として主将へ助言しアドバイスするのが妥当だろう。この点、A 君は周囲とのコミュニケーションは苦手としているものの、技能的にはレギュラーで中心選手となっているため、副主将を任命するにあたり最も適当であるといえる。

なお、この運動部では異なった性別・国籍のメンバーが在籍しているため、他の部活動・チームと比して「互いを尊重し協働する姿勢」が求められる。そのため、B 君を中心に良好な人間関係を築き、互いの能力を噛み合わせていくことが肝要であろう。

(595字)

